

【議事概要】

第6回後志利別川流域治水協議会及び第9回後志利別川水系外大規模氾濫に関する減災対策協議会 合同開催 1 / 5

※後志利別川流域治水協議会を以下、「流域協議会」という。後志利別川水系外大規模氾濫に関する減災対策協議会を以下、「減災協議会」という。「流域協議会」「減災協議会」両方を以下、「両協議会」という。

開催日時：令和7年2月17日（月）13：30～15：10

開催場所：今金町民センター 1F 町民ホール

開催方法：対面＋WEB会議による議事

参加機関：せたな町、今金町、檜山振興局、渡島総合振興局、狩場利別土地改良区、函館地方気象台、渡島森林管理署、森林整備センター北海道水源林整備事務所、北海道警察函館方面本部警備課、北海道警察函館方面せたな警察署、檜山広域行政組合せたな消防署、檜山広域行政組合今金消防署、北檜山市街地町内会、今金連合町内会、田代地区連合自治会、函館開発建設部
※順不同



<議事（1）流域治水協議会と減災対策協議会の概要> 資料－1

- ・「両協議会」の目的、主な実施内容、経過報告および今後の予定について事務局より説明。→異議無し。

<議事（2）規約について（「流域協議会」）> 資料－2

- ・規約改定無し。→異議無し。

<議事（3）幹事会の報告（「流域協議会」）> 資料－3

- ・令和7年1月15日にWEB、令和7年2月12日に書面開催された第6回、第7回後志利別川流域治水幹事会での議事事項を事務局より説明。→異議無し。

<議事（4）流域治水プロジェクト2.0の改訂と令和6年度自分事化に向けた取組フォローアップおよび次年度の自分事化に向けた取組計画（案）について（「流域協議会」）> 資料－4

- ・流域治水プロジェクト2.0改訂～令和6年度実施内容を踏まえた修正等を事務局より説明。
- ・住民や企業等が自らの水害リスクを認識し、自分事として捉え、主体的に行動することに加え、流域全体の水災害への取組へと行動を深化させていくことを目的とした「後志利別川流域治水協議会自分事化に向けた取組計画」の令和6年度の取組状況、令和7年度の取組計画案を事務局より説明。

→異議無し。

<議事（5）規約について（「減災協議会」）> 資料－5

- ・規約改定無し。→異議無し。

<議事（6）幹事会の報告（「減災協議会」）> 資料－6

- ・令和6年6月24日に開催された第13回後志利別川水系外減災対策幹事会での議事事項を事務局より説明。→異議無し。



<議事（7）後志利別川水系外の減災に関する取組方針について（「減災協議会」）> 資料－7

- ・後志利別川水系外の減災に関する取組方針改定無し。→異議無し。

<議事（8）流域治水・減災対策の取組について（「両協議会」）> 資料－8

<議事（9）意見交換（流域治水および減災対策の推進について）（「両協議会」）>

■せたな町 ■ ※「両協議会」所属

【取組状況等】

町内4校を対象とした一日防災学校の開催。自主防災組織による防災研修。災害情報等の発信強化としてせたな町公式LINEの運用強化を実施。

【代表者コメント】

公共下水道事業で雨水浸水対策工事の継続実施しているほか、令和6・7年度で内水浸水想定図の策定を行い脆弱箇所抽出を行った上で対策を実施予定。また、老朽化した排水機場については、点検結果から必要に応じ補修等を実施予定。町とせたな町建設協会で防災協定を締結しており、毎年出水期前に協議を実施している。令和7年度には水害対策として大型土嚢を購入し、有事に備えた対策を予定。地球温暖化対策としての再生可能エネルギーの利用等、ゼロカーボンに向けた積極的な取組についても今後とも関係機関と一緒に進めていく必要があることから、引き続きご協力をお願いしたい。



【議事概要】 第6回後志利別川流域治水協議会及び第9回後志利別川水系外大規模氾濫に関する減災対策協議会 合同開催 2 / 5

■今金町■ ※「両協議会」所属

【取組状況等】

令和4年8月出水対応として第二幹線川における内水排除対策の実施。町内2校を対象とした一日防災学校、各町内会長・連合自治会長・自主防災組織の役員・民生委員児童委員が集まった「関係機関合同防災研修会」の実施。総合文化祭にて非常食の無償提供や避難所用テントの展示、後志利別川清流まつりによる啓蒙活動を実施。

【代表者コメント】

第二幹線川における内水排除対策箇所において、実際に運用準備を行った結果、課題が確認された。課題について、各関係機関との共有し、今年度中に対応可能な措置を実施したところ。

また、令和4年度の降雨量を上回る場合を想定したシミュレーションを実施し、必要に応じ新たな貯留施設の設置が可能か調査・検討を進めているところである。結果が出次第、関係機関の皆さんへ情報共有や調整等のご協力をお願いしたい。

国道、道道のカントリーサインの見直しについて、町民投票を行った結果、後志利別川の流れをモチーフにしたデザインが選出された。最も水質が良好な河川に23回選出された事も相まって、町民の愛着も増してきていると実感。

流域の環境保全等、様々な角度から引き続きご協力願いたい。



■檜山振興局■ ※「両協議会」所属

【取組状況等】

稲穂2地区における治山ダムの施工、北檜山地区・今金地区における植栽及び間伐により、山地災害から地域の保全を実施。西兜野排水機場施設更新、耐震補強による内水排除対策の実施。

【代表者コメント】

檜山振興局としては、農業施設の整備や森林整備、治山事業等を通じ、流域治水と連携した取組を行っているところ。

また、せたな町や今金町が実施する避難訓練や防災教育への積極的な支援、流域関係機関との連携を密にし、地域住民の皆様が安心安全な暮らしをおくることが出来るよう、流域全体の防災減災対策に取り組んでいきたい。

■渡島総合振興局■ ※「両協議会」所属

【取組状況等】

真駒内川及びトンケ川における河道掘削・盛土工・護岸工、うぐい川における河道掘削による後志利別川各支川の流下能力の向上策を実施。

二級水系太櫓川における河道掘削、その他支川における浚渫・樹木の伐採を実施。

【代表者コメント】

後志利別川流域治水対策に加え、2級河川60水系の流域治水プロジェクトも策定中。グリーンインフラや自然環境の保全創出に努めた河道掘削や堤防整備に加え、浸水頻度の高い農地の高上げ等により治水安全度の向上に努める。

気候変動に伴う水害等の激甚化、激発化に備えるため流域治水や減災対策が非常に重要であると認識。流域の安全安心を確保するため、関係機関の皆様のご協力をいただきながら、流域治水対策の取組を着実に進めていきたい。



■狩場利別土地改良区■ ※「両協議会」所属

【取組状況等】

治水協定に基づく真駒内ダムの事前放流等の実施。

【代表者コメント】

治水協定に基づく、真駒内ダムの事前放流により、後志利別川の流域治水に引き続き協力したい。

近年、重要視されている田んぼダムについて、当区においては、組合員への周知・理解を得る事が課題と考える。田んぼダムの効果を伝えるため、関係機関の協力が必要不可欠であるため、今後も協力願いたい。



■函館地方気象台 ■ ※「両協議会」所属

【取組状況等】

警報等の効果的な活用に向け、「気象台からのコメント」の改善、関係機関の防災対応を一層支援。指定河川洪水予報のより確実な運用に向け、関係機関合同の情報伝達訓練の実施。流域平均雨量を用いた気象解説への取組に向けた調査検討。

【代表者コメント】

気象予測技術、気象解説力を高める事に注力。自治体、関係機関の皆さんの防災対策、防災判断に役立てるよう、わかりやすく適時的確な気象解説に努めていきたい。

各町の防災担当者とは定期的な意見交換を行っているところであるが、引き続き要望等があれば、ご連絡願いたい。



■渡島森林管理署 ■ ※「流域協議会」所属

【取組状況等】

ピリカスキー場ゲレンデEコースにおける地すべり対策工事や保安林・森林整備事業によって、土砂災害や山地災害から地域を保全。

【代表者コメント】

森林管理署では、当該地区の取組に加え、治山ダムの整備や山覆整備等により、地域の山地災害を未然に防いで防災減災対策に努めているところである、今後も関係機関のご理解、ご協力願いたい。

署長（代理）総括治山技術官 中永 弘雄



■北海道警察 函館方面本部警備課 ■

※「減災協議会」所属

【代表者コメント】

適切な災害対応には情報の共有等、防災関係機関の皆様の協力が必要不可欠であることから、より一層、連携を深められるよう、各種会議への出席や訓練・実習を推進していく。

■森林整備センター 北海道水源林整備事務所 ■

※「流域協議会」所属

【代表者コメント】

森林整備センターでは民有保安林を対象に森林機能の維持増進に資する事を目的に森林整備を実施している。昨今、林業労働者の減少や、運搬用トラックの確保が大きな課題となっているが、河川氾濫や山地崩壊の防止、流域最上流部に存在する森林の計画的な整備が不可欠であることから、限られた労働力等の中で効率的効果的に防災減災対策を実施していく必要があるため、地域の皆様や関係機関と連携しながら取組を推進していきたい。



■北海道警察 函館方面せたな警察署 ■

※「減災協議会」所属

【代表者コメント】

大雨による災害は事前予測が可能であることから、いち早い避難行動が必要。両町で実施している町民の避難に向けた自主防災意識の向上を図る取組に対し、警察としても協力・協同したい。



■ 檜山広域行政組合 せたな消防署 ■

※「減災協議会」所属

【代表者コメント】

当消防署としては、災害発生時の実働機関として、情報収集、情報の共有を関係機関と連携し、早め早めの対応で人的被害の軽減を図りたい。



■ 檜山広域行政組合 今金消防署 ■

※「減災協議会」所属

【代表者コメント】

今金消防署の取組として、令和7年度の事業として、災害対応用のドローンを整備する計画であり、大雨による崖崩れ等の現場状況や孤立した家屋の状況を把握し、その後の救助活動に活用したい。



■ 北檜山市街地町内会 ■ ※「流域協議会」所属

【代表者コメント】

せたな町の支川での整備により、市街地の浸水解消を実感しているところ、また、ダム放流による、後志利別川及び真駒内川合流点の水位上昇を懸念しているが、両河川の整備による効果を期待している。

町民としては、ダムや河川の運用やあり方を十分に理解していないことから、ダム運用に関する説明を受ける必要があると考える。また、各関係機関で実施している防災訓練も重要と考える。

これまでの町や国、道の対策は町民として有り難いことである、今後も引き続きよろしく願いたい。



■ 今金連合町内会 ■ ※「流域協議会」所属

【代表者コメント】

令和4年8月出水対応としての第2幹線川の排水対策に大いに期待しているところ。ただし、更なる大雨の可能性もあることから訓練等による体験を行うことが大事である。過去2年、関係機関の防災研修会を実施しているが、今年は開催日を休日にし、更なる参加者を集う予定である。

内水面漁業協同組合の役員も言っているが、漁業関係者としては、漁業資源の面から大雨だけでは無く、渇水も心配である。関係機関の皆様においては、近年の豪雨や異常渇水等の気候変動に対して、住民が安心して暮らせるよう、今後も色々な対策をお願いしたい。



■ 田代地区連合自治会 ■ ※「流域協議会」所属

【代表者コメント】

昨年1月に能登半島での大規模地震があったが、当地区においても過去に南西沖地震により、田んぼや堤防の液状化等により甚大な被害を受けた。同様の地震があった場合を危惧している。

当該地区の避難所である今金中学校へは、橋を渡る必要があるが、一次避難場所として、農協の玄米センターの倉庫の開放を許可いただいた。今金町、農協には感謝。

その他、色々な面において、関係機関の皆様のご協力、ご指導をいただければと思っている。



■函館開発建設部■ ※「両協議会」所属

【取組状況等】

後志利別川本川の河道掘削、樹木伐採による流下能力の向上、堤防整備による洪水に対する安全率の向上、水防資材の備蓄による減災対策、水防工法演習や災害対策用機械操作訓練の実施、管内 2 校を対象とした一日防災学校の実施。

【代表者コメント】

本日、色々をご報告させていただいた中で、興味や関心、連携したい事項等があれば、当部にご連絡いただきたい。地域の防災力を上げるためには、関係機関の連携が不可欠であるとする。

治水対策の内、ハード対策については、非常に時間を要するが、効果的・効率的な整備に取り組んでいきたいとする。



部長 岡下 淳